



## コロナ禍で更に求められる Linux 資格をサポート

## CASE STUDY

企業名	インターネット・アカデミー
所在地	東京都渋谷区桜丘町20-1渋谷インフォスタワー5階
URL	<a href="https://www.internetacademy.jp/">https://www.internetacademy.jp/</a>
業務内容	IT技術者の育成およびITに関する企業教育全般、IT技術者の人材派遣など
従業員数	70名



### 「新型コロナウイルスで更に求められる Linux 資格をサポートするインターネット・アカデミー」

新型コロナウイルスの影響で多くのプロフェッショナルが新しい働き方に適応している中、これまで以上に自身の知識と経験を伸ばすことに注力する傾向が明らかになってきた。時間を有効活用し、新しいテクノロジーやソフトウェアに関して自身の知識を拡張するために資格試験に向かうのは自然な流れだろう。

今回は、創業以来 25 年間、インターネットを広め、世界中の人々へ教育を提供するという理念の下で教育サービスを提供してきたインターネット・アカデミーに訪問し、実際に受講生と接している 2 名の方にインタビューを実施した。応じてくれたのはインストラクターの有村克己氏とディレクターの木村哲氏だ。



インタビューに答える有村氏（左）と木村氏（右）

### インターネット・アカデミーの事業を紹介してください。

有村：インターネット・アカデミーは今年で創業 25 周年になる IT 教育を行っている会社です。母体となっている Web の制作会社の経験を活かして様々な教育コースを展開しています。LPI 日本支部の他にオラクル株式会社や Web 技術の標準化団体である W3C との提携も行っています。

木村：我々は LPI 日本支部が日本で活動を始めた当初からコンタクトを始めています。LPIC などの資格試験のトレーニングを行うパートナーとして認定されています。もともと Linux というオープンソースソフトウェアはインターネットの土台を支えるプラットフォームとして重要だと思いますし、オープンソースで開発を行うというやり方はインターネット・アカデミーの創業以来の理念ともマッチしています。オープンソースソフトウェアの持つ、ベンダーに偏らずに透明性が高いという部分はインターネットの考え方も同じだと考えています。

### Linux に代表されるオープンソースソフトウェアは 1 つのベンダーが開発をしているわけではないので、それを学ぶためのコンテンツが予め用意されているわけではないと思います。教育を行う際のカリキュラムを設計する時に苦労はなかったですか？

有村：それは無かったですね。逆に試験を見ればどういった項目を学ぶ必要があるのかは分かるので。また、ベンダーニュートラルであるというのは特定のベンダーに依存せずに、実際に

現場で用いられている技術のカリキュラムに取り入れやすく、とても重要だと考えていますので、これからもその部分は持続して欲しいと思います。

### 企業向け新人教育にもコースが使われているということですが、新卒の場合、ある程度知識を持っている人とそうでない人がいることになりませんか？その意味での苦労は？

有村：そうですね。企業によっては新人研修の一貫として取り入れている場合がありますので、コンピュータに関する知識に差があることはあります。その場合はグループ分けをうまく設計して、教えることができる人とそうでない初心者を混ぜることでグループ内で教え合うような環境を作ることもありますね。ただ最近は Linux を学生の時にある程度、触っているという人が増えていると思います。そういう人にとっては基礎的な内容よりもトラブルシューティングのような実践的な内容が好まれているようです。また企業によっては Windows サーバーの研修も一緒にやって欲しいという依頼もあります。これはまだ企業の情報システムにおいては Windows サーバーがかなり使われていることを意味していると思います。先進的と言いますが、技術的にも高いものを持っていると思われる企業のほうが Linux の教育に関しては熱心ですね。Windows と一緒に教育する場合は Windows を先にやってから Linux の研修を実施することもあります。



### Windows をやってから Linux に移ると いうことに何か意味はありますか？

有村：Windows に関しては受講者の皆さんは普段使っているノートブック PC などである程度触っているので、スムーズに内容を理解できるからですね。Windows サーバーは GUI で操作も分かりやすいので。Linux のサーバーに関する研修はどうしてもコマンドラインを操作する実習を行う必要がありますので、そこでつまづきやすいのを避けたいという意味もあります。あと、どうしてもネットワークの管理や操作にコマンドラインからの操作が必要になるんですが、ちょっと前まではネットワーク管理を Linux の前にやっていたんですが、それを入れ替えて Linux でコマンドラインに慣れてからネットワーク管理に入るように変更しました。そうすることでより理解しやすいようになったと思います。これは現場での意見を取り入れてインターネット・アカデミーとして工夫した内容ですね。

### 受講者の評判はどうですか？

有村：アンケートを見ると非常に良い評価をいただいています。インターネット・アカデミーの受講者は新卒の人から 30 代、40 代まで幅広いんですが、新型コロナウイルスの影響で Linux を学びたいという人は確実に増えていると思います。企業からも Linux の知識と経験が求められているということを反映していると思います。オープンソースが企業においても求められているということを感じますね。



授業風景

### 最後に LPI に対して何かリクエストはありますか？

有村：セキュリティや IoT、機械学習などこれからのエンジニアに求められてくるテクノロジーは広がってくると思いますが、特にセキュリティに関してはどのコースでもポイントとなってくると思いますので、是非、独立した試験として提供して欲しいですね。セキュリティはカバーしなければいけない領域が広くてどこから手を付ければ良いのか難しいので、試験としてまとまっていればそれに対応するコースを開発できると思いますから。

木村：LPI 日本支部からは、会員からの意見を取り込んで試験を開発することが可能であるということを聞いていますので、これからはこちらからも意見を発信していきたいと思わずね。

受講者からは Linux だけにとどまらずに IoT や機械学習などに対しても強い興味があることが感じられるという。

オープンソースソフトウェアや IoT、セキュリティなどのテクノロジーについても強いニーズに応えるインターネット・アカデミーと LPI 日本支部のコラボレーションに期待して欲しい。



渋谷校入口